

水源林を守ろう

道志水源林

横浜市の水源の一つである、山梨県道志村を源流とする道志川は、年間降水量が多く、豊かな森林に恵まれ極めて良質な水が流れる川です。

水道局では、道志川の水質を守るために道志村内に広大な森林を所有して水源林として管理しています。現在、その面積は2,873ヘクタール(都筑区とほぼ同じ広さ)で、村の総面積の約36%に相当します。



▲道志川

道志川は
はまピヨンの
ふるさと
なんだピヨン



水源林の管理

水道局では、道志川の安定した河川流量と良好な水質を維持し、市民の皆さまに安全で良質な水をお届けすることを目的に、道志村内に水源林管理所を設置し、水源かん養機能が向上するよう、計画的に水源林の管理・保全を進めています。

水源かん養機能

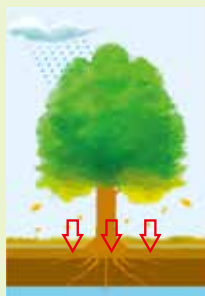
森林の土壌には「水を蓄える」、「水を浄化する」、「洪水を緩和する」の3つの働きがあります。

水を蓄える



森林の土壌は樹木の葉や枝が何年にもわたって堆積し、厚い腐植層を形成します。この腐植層はスポンジのように吸湿性に富み、たくさんの雨水を蓄えることができます。

水を浄化する



森林に降った雨は、保水能力の高い森林土壌にたっぷりと吸収され、ゆっくり地中に浸透することで良質な地下水に浄化されます。

水源林には、
大切な役割が
あるんだピヨン



洪水を緩和する



地下水は湧き水となって再び地上に現れ、河川となります。もし山々に森林がないと、雨水は地表を一気に流れていきます。

森林の土壌は、雨水が河川へ流れ出す量を調節し、洪水を緩和する機能を持っています。

水源エコプロジェクト W-eco・p (ウィコップ)

企業・団体と締結する「ウィコップ」協定に基づき、水源林整備にかかる費用をご寄附いただき、水道局が道志村に所有する水源林整備を推進するとともに、水源の大切さをPRする取り組みです。



市民の皆さまと連携した森づくり

体験活動も受付中!

道志村の約6割を占める民有林の中には、人手不足などで管理が行き届かない森があります。そこで、平成16年度から市民ボランティアの力をお借りして、民有林の手入れを行っています。



▲若い世代の方も体験活動に参加しています

NPO法人 道志水源林ボランティアの会

現在、会員を募集しています。
ぜひ一度、道志の森で汗を流してみませんか？

会員数	活動内容
約290人 ※令和2年度時点	整備活動 15回/年

お問い合わせ
〒231-0031 横浜市中区万代町3-5-8大久保ビル402号
電話・FAX 045-664-3972

道志水源林ボランティアの会 [検索](#)

横浜市水のふるさと道志の森基金

市民・企業・団体の皆さまからの寄附などから成るもので、道志水源林ボランティア事業の財源として活用しています。これまでに大変多くの皆さまの思いが水源保全の活動に役立てられています。